

県政レポート

ほんまに ゆるやかなかん

VOL.11

Go! Go! 白井 ゆきのり



白井ゆきのり 検索



令和4年11月定例会議において、以下の項目について質問をいたしました。

【行政経営方針について】

Q: 全職員がスピード感を持つことについては、県民や民間企業からも要望の高いところ、総務部長の考えを伺う。

A: < 総務部長 >

刻一刻と状況が変わる中で、正しく状況を把握した上で、決して前例踏襲の捉われずに、主体的にチャレンジをする「健全な危機観」を持って事態に迅速に対応する「スピード感」が大変重要と考えている。

Q: 役職上位者が与えられた権限の中で、意思決定を早くすることは効果が大いと思うが考えを伺う。

A: < 総務部長 >

管理職、特に役職上位層がご指摘いただいたことを踏まえながら、スピード感を持って取り組み、県民の皆様へのサービスの提供、その質の向上を図っていくことが大事だと考える。現在作成中の実施計画に反映させていきたいと考えている。



【滋賀ダイハツアリーナについて】

Q: 道路を挟んだ向かい側には滋賀医大がある。まず滋賀医大の救急搬送の状況と今後の見込みについて健康医療福祉部長に伺う。

A: < 健康医療福祉部長 >

令和元年に救急搬送された人数は 3,527 人、救急車以外での救急受診は 5,847 人の合計 9,374 人でした。現在救急専用病床の新設をはじめ、高度急性期機能の強化を図る整備が進められておりまして、高度な救急体制が確保されることで、今後救急患者数は増加していく可能性がございます。

Q: アリーナの来場車輛の混雑により、救急搬送を妨げるのではないようにすべきである。施設設置者である知事の考えを伺う。

A: < 知事 >

もともと協議していた時から状況が変わってきた事象等もありますので、もう少し皆様に安心していただけるような対応もいると思いました。施設設置者といしましては、関係者と連携し、大規模イベント時には状況を共有して、救急搬送の面から支障をきたさないよう必要な対策をしっかりと行ってまいりたいと存じます。

ご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は、皆様から温かいご支援をいただき改めて御礼を申し上げます。

さて、昨年はロシアのウクライナ侵攻など、国内外で社会をゆるがす出来事がたくさんありました。また、原材料価格の上昇や円安の影響を受けて物価の高騰が続き、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしました。

そんな中、サッカーのワールドカップ・カタール大会で、日本代表がグループリーグでドイツやスペインに勝利し、2大会連続で決勝トーナメントに進出したことは、国民に勇気と感動を与えてくれたと思います。

滋賀県は、昨年 150 年の節目を迎え、私も滋賀に一層誇りや愛着を持つとともに、「滋賀の未来」について考えることが出来ました。これを契機に次の周年に向け皆様のご期待に応えることができますよう、決意を新たに努力してまいりますので、旧に倍しましてのご指導、ご支援の程よろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年1月吉日

滋賀県議会議員

白井幸則

県外行政調査（令和4年11月）

琵琶湖・CO₂ネットゼロ対策特別委員

静岡県では、先にユネスコの世界文化遺産に登録された「富士山」をめぐる、拠点施設を視察し、保護活動や情報の発信等の事例を見ることができました。また当施設では、静岡県の県産材が有効的に利用されている調査を行うことができました。

山梨県では、水素社会の構築を前提とした技術開発を調査しました。カーボンニュートラルへの挑戦が、産業や社会の大きな転換を迎える、重要な取り組みになると考えます。



土木交通・警察・企業常任委員

路線バスの運行改善や交通ネットワークの強化等の地域交通の維持と活性化のため、滋賀交通ビジョンの見直しを進めています。

広島市では、低床式車両を早くから導入し、優れた特徴を持つ起動系交通システム（LRT）が構築されていました。熊本市では、乗り合いバスの運行の効率化や利便性の向上につながる取組を調査いたしました。

また各地において、工業用水道事業の調査、豪雨災害・地震被害後の支援と復興についての取組も調査を行うことができました。



安全に安心して暮らせる地域をつくる！

自衛消防訓練大会を視察

各事業所では、消火器の使い方や消火栓からの放水の手順を、毎年繰り返し訓練を実施しています。継続的に取り組むことで、とっさの時でもあわてず対処できるように、心がけることができます。

また湖南消防では、町内会や自主防災隊の皆様と、消火訓練・避難訓練・模擬119番通報訓練、AEDの使い方訓練などが実施されています。



滋賀県警察交通管制センターの視察

草津市議会「草政会」のみなさんと、滋賀県警察本部を視察しました。

交通管制センターでは、県下の主要道路の交通状況をモニターで見ることができます。県内の交通情勢を詳細に把握し分析することで、しっかりとした交通安全対策を実施することができます。また当センターの Twitter 公式アカウントでは、県内の影響の大きな通行止め等の交通情報が発信されていますので、車の運転にも役立てていただきたいと思います。



祝 ユネスコ無形文化遺産「風流踊り」登録

草津市のサンヤレ踊り保存協議会7団体が「風流踊り」（全国で41件）として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。この登録によって、地域間の対話や交流を促進し、私たちの大切な無形文化遺産の、伝承とその保護の取り組みに、大きく貢献するものと思います。



ユネスコ無形文化遺産 登録記念講演会 開催

講演 俵木 悟氏（成城大学教授）
実演 下笠のサンヤレ踊り 志那のサンヤレ踊り
日時 1月29日（日）午後1時30分～
場所 草津市立クリアホール

「白井ゆきのり県政報告会」

開催のご案内

ゲスト 参議院厚生労働委員長

山田 宏 先生

テーマ 「日本の尊厳と国益を守る」

山田 宏先生の成人式動画
<310万回視聴されている、
杉並区長時代の成人式での動画>



日時 2023年2月12日（日）14:00より
場所 ホテルポストプラザ草津びわ湖
6階 ケネディールーム

会費 無料

予約制ではありませんが、場内の人数を制限（250名）しての開催となります。

あなたの声を県政に！ いのちとくらしを守ります



LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主党

滋賀県議会議員団

県議会レター

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
2023年(令和5年)も、より一層、議会の機能を発揮し会派一丸となって県政推進に努めてまいりますので、格別のご支援を賜りますようお願いいたします。
今年は「うさぎ年」です。うさぎの耳は福を集めるといわれています。卯年が皆様にとりましてご多幸な年となりますようお祈り申し上げます。

自由民主党滋賀県議会議員団



進む! 「延暦寺根本中堂等の大改修」

1642年(寛永19年)建立の延暦寺根本中堂は、1955年(昭和30年)の昭和の大改修(半解体修理)から約60年が経過し、雨漏りや外装の痛みが進んでいることから、2016年度から10年以上の年月をかけて、屋根の全面ふき替えや剥がれた漆の塗り替え、腐食した柱の補強などが行われています。自民党県議会議員団は世界文化遺産であり国宝である根本中堂を後世に引き継ぐために保存修理事業を推進し、もって地域の活性化に活用するよう積極的に取り組んでいます。



「マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進を求める意見書」を提出

マイナンバー制度は、国民にとって利便性の高いデジタル社会の実現に役立つものであり、マイナンバーカードは、安全・安心なデジタル社会の基盤として重要な役割を果たすものです。真のデジタル社会を実現するためには、全ての国民が誰一人取り残されることなくマイナンバーカードを取得しその利便性を享受することができるよう、取組を進めていく必要があります。

そのため、国に対して、マイナンバー制度への理解促進に向けた取組を強化すること、マイナンバーの利用範囲の拡大を図ること、各種免許証や障がい者手帳等との一体化等国民が利便性向上を実感できる取組について確実に実現すること、加えてマイナンバーの利用による預貯金口座の管理に関する制度の円滑な実施を図ることを求める意見書を提出することを我が会派が提案し、賛成多数で可決されました。

賛否の状況

●:賛成 X:反対

会派名	自由民主党 滋賀県議会議員団	さざなみ 倶楽部	公明党	無所属	チームしが 県議団	日本共産党 滋賀県議会議員団
意見書第18号 マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進を求める意見書	●	●	●	●	●X	X

チームしが県議団は賛否が分かれました。

11月定例会議 代表質問

質問者 周防清二議員



Q 自然災害のみならず武力攻撃事態における県民の命を守る知事の決意を問う

A 北朝鮮による度重なる弾道ミサイルの発射は、我が国、我が地域も深刻かつ重大な脅威であり断じて容認できない行為だ。これまでから国や市町など関係機関と大規模テロを想定した訓練を実施するほか万が一における身を守る行動をよびかけている。今後は弾道ミサイルも想定した訓練も実施する。県民の生命・身体および財産を保護するために最善を尽くしてまいります。

※その他の内容は県ホームページをご覧ください。

- 防災・危機管理対策について **知事**
- 広域行政について **知事**
- CO₂ネットゼロ推進について **知事**
- 県財政の収支改善における歳入確保について **知事**
- 「いちご一会とちぎ国体」から次につなげる試みについて **知事**
- 琵琶湖の保全再生について **知事**
- 県立病院の経営強化について **知事**
- 共生社会に向けた取組の推進について **知事**
- 企業立地促進と中小企業支援について **知事**
- 世界農業遺産「琵琶湖システム」を活かした魅力発信について **知事**
- 防災・減災、国土強靱化の取組の着実な推進について **知事**
- いじめや暴力行為等の問題について **知事、教育長**

政府予算をふまえた11月議会で可決した補正予算

主な事業と予算	総額 26,644,450千円
● 出産・子育て応援交付金事業 (妊娠・出生届け出時に各5万円支援等)	1,297,786千円
● 産地競争力の強化対策事業 (農業者の農業機械・施設導入支援)	344,000千円
● 粗飼料価格高騰対策緊急支援事業 (県独自の乳牛・肉用牛生産畜産農家への支援)	62,870千円
● 県立学校トイレ整備事業 (県立学校のトイレ整備)	483,790千円
● 「今こそ滋賀」観光推進事業 (県内旅行促進のための支援)	2,377,395千円
● 電子割引券発行による中小・小規模事業者応援事業 (しが割キャンペーン第2弾)	1,545,356千円
● 土地改良関係公共事業	2,416,273千円
● 道路・河川等土木公共事業	15,169,050千円